

★親子で星空さんぽ★

第6夜「秋の星座とギリシャ神話」

～ 今夜のテーマはロマンチックなギリシャ神話です ～

秋になってとても天気が安定してきました。皆さんも夜になると家から月が見えたり、星が見えたり、しているでしょうか？ その時はぜひ望遠鏡でのぞいてみましょう。

さて今夜は秋の星座が次々に登場する「ギリシャ神話」のお話です。

■いけにえにされたアンドロメダ姫

むかし、古代エチオピア国にケフェウスという立派な王様がいました。そのきさきのカシオペア女王と、2人の娘のアンドロメダ姫という、とてもかわいらしいお姫様がいました。エチオピアの国民は幸せに暮らしていたのです。

しかし女王カシオペアが、自分の美しさを鼻にかけ、大変いばっていました。それはアンドロメダ姫の美しさもカシオペアの自慢でした。そして、ついこんなことを言ってしまったのです。「アンドロメダの美しさには、あのポセイドンの孫娘たちなんか足元にもおよばないわ」

海の神であるポセイドンも美しい孫娘たちがとても自慢でしたから、カシオペア女王の言葉は聞き捨てなりません。かわいい孫たちを人間にバカにされたポセイドンは、おこってしまいました。カシオペアをこらしめようと、おそろしい怪物のクジラをエチオピアに差し向けたのです。エチオピアの海岸には、毎日、怪物クジラが姿をあらわし、津波を起こしたり、人々がおそわれたりしてエチオピアの国は大混乱になりました。

こまったケフェウス王は、神様にうかがいを立てました。すると、ポセイドンのいかりを静めるためには、アンドロメダ姫を怪物クジラのいけにえに差し出せというお告げがあったのです。それを知った国民はアンドロメダ姫を海岸の岩にしばりつけました。

かわいそうなアンドロメダ姫が海岸でおびえていると、海がなみうち始めました。ついに、恐ろしい怪物クジラが姿をあらわしたのです！怪物は大きな口を開け、アンドロメダ姫に近づいてきます。アンドロメダはあまりの恐ろしさに、目をつぶりました。そのときです。馬のいななきが聞こえたかと思うと、天馬ペガサスにまたがった、勇者ペルセウスが空から舞いおりてきました。ペルセウスは、魔女メデューサをたいじして、故郷へ帰るところでした。そこで岩にしばられたアンドロメダ姫を見かけたのです。

ペルセウスはクジラの目の前にメデューサの首をつきつけました。メデューサは、その顔を見たものは、すべて石になるというおそろしい顔です。これにはどんな怪物クジラもひとたまりもありません。クジラはたちまち石になり、海へしずんでいったのです。

こうしてアンドロメダ姫をたすけたペルセウスは、アンドロメダとともにケフェウス王の元へ帰りました。やがて二人は結婚し、末永く幸せに暮らしたということです。

■次回11月13日(金)は「流れ星の不思議」午後7時からです。

次回の予定は流れ星の正体をお話しします。皆さんは流れ星を見たことがありますか？
お楽しみに!!